様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	市立函館病院高等看護学院
設置者名	函館市

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程	看護学科	夜・通信	330	240	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kanbyou.jp/ichikan/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第２号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	市立函館病院高等看護学院
設置者名	函館市

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	市立函館病院高等看護学院外部委員会
役割	学校の自己点検自己評価を客観的に評価する。 外部委員会から出された意見については、 運営会議において検討し、学院運営に活用する。

２．外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
木古内町国民健康保険病院	2026.4.1～ 2028.3.31	実習施設関係者
市立函館病院	2026.4.1～ 2028.3.31	実習施設関係者
（備考）		

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	市立函館病院高等看護学院
設置者名	函館市

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 毎年度、カリキュラム会議を７～８月に行い前年度の課題の見直し、次年度の授業計画を作成。その中でカリキュラム改正を見据えながら現行カリキュラムの評価を行い、到達目標・成績評価等学生に効果的な授業の方法・内容・基準を検討している。 授業計画の作成は３月、公表は４月に実施。 授業計画についてはHPで公表している。
授業計画書の公表方法　https://www.kanbyou.jp/ichikan/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 単位修得認定は各授業科目に係る講義などの出席状況および 当該授業科目に係る試験の成績または実習の評価に基づき教務会議及び、 進級審査会議で単位修得を認定している。 定例の教務会議では欠席や欠課の多い学生の把握、再試験の実施状況などを教務で共有し単位修得や履修が適切に行われるよう確認している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 科目の単位認定は試験及び実習評価によって行う。学科試験は各科目終了ごとに随時行う。なお、学科試験は各科目につき講義時間の２/３以上の出席で受験が認められる。実習評価は指定された時間の４／５以上の出席で評価を受けることができる。学科及び実習の認定については認定点６０点以上で合格となる。評価基準は評点から秀・Ｓ（９０点以上）優・Ａ（８０点以上９０点未満）良・Ｂ（７０点以上８０点未満）可・Ｃ（６０点以上７０点未満）不可・Ｄ（６０点未満）。 成績評価の客観的な指標については平均点の成績分布を HP 上で公表している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.kanbyou.jp/ichikan/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 教育計画に沿った科目すべての履修・認定および態度・出席状況などから総合的に判定する。卒業認定は１月に判定会議で決定する。 卒業認定を受けた者には国家試験の受験資格と専門士の称号を付与し卒業証書を授与する。ホームページにて学生便覧を公表している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.kanbyou.jp/ichikan/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	市立函館病院高等看護学院
設置者名	函館市

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	専門	看護	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	103	80		23		

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
２１０人	１９７人	０人	１１人	１３８人	１４９人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 毎年度、カリキュラム会議を７～８月に行い前年度の課題の見直し、次年度の授業計画を作成。その中でカリキュラム改正を見据えながら現行カリキュラムの評価を行い到達目標・成績評価等学生に効果的な授業の方法・内容・基準を検討している。授業計画についてはHPで公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 科目の単位認定は試験及び実習評価によって行う。学科試験は各科目終了ごとに随時行う。なお、学科試験は各科目につき講義時間の２/３以上の出席で受験が認められる。実習評価は指定された時間の４／５以上の出席で評価を受けることができる。学科・実習の認定については認定点６０点以上で合格となる。 評価基準は評点から秀・Ｓ（９０点以上）優・Ａ（８０点以上９０点未満）良・Ｂ（７０点以上８０点未満）可・Ｃ（６０点以上７０点未満）不可・Ｄ（６０点未満）。成績評価の客観的な指標については平均点の成績分布をHP上で公表している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育計画に沿った科目すべての履修・認定および態度・出席状況などから総合的に判断する。進級は３月、卒業は１月に判定会議で決定する。

学修支援等
（概要） 各学生の履修状況・認定および態度・出席状況などを毎月の教務会議で教員が共有化を図り奨学生の指導に役立てる。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
63 人 （100%）	7 人 （　11.1%）	55 人 （　87.3%）	1 人 （　1.6%）
（主な就職、業界等） 病院、医療現場			
（就職指導内容） １年次から進路について学生の希望を確認し３年次で個別相談を実施し就職に必要な書類作成や面接試験対策の指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 専門士の称号付与・看護師国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１９７人	２人	1%
（中途退学の主な理由） 一身上		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談および保護者との面談で状況確認 学生および保護者の意思を尊重し個別対応（授業環境調整、時間調整）		

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	60,000 円	360,000 円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ） 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.kanbyou.jp/ichikan/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
年間行事計画・授業計画について年１回学校関係者で会議を実施、HP に公表。 委員は教育に関する有識者１名、実習施設関係者１名、卒業生１名。 評価結果については、運営会議において検討し、学院運営に活用する。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
函館市医師会看護リハビリテーション学院	2026.4.1～2027.3.31	教育に関する有識者
市立函館病院	2026.4.1～2027.3.31	実習施設関係者
市立函館病院	2026.4.1～2027.3.31	卒業生
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.kanbyou.jp/ichikan/		
（備考）		

ｃ） 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.kanbyou.jp/ichikan/